



KUMAMOTO

GREEN Rotary-Club

The Weekly Bulletin

Kumamoto green rotary-club district 2720 rotary international



人類に奉仕する
ロータリー

2016~
2017年度
テーマ

国際ロータリー

「人類に奉仕するロータリー」

R.I. 会長 ジョン・F. ジャーム

地区方針

「学ぶ・守る・育てる・未来へ向けて」

R.I. 2720 地区 ガバナー 前田眞実

熊本グリーンRC

「ロータリーを育て行動しよう」

熊本グリーンRC 会長 河島一夫

■例会日：毎週月曜日 18:30~19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：河島一夫 ■幹事：葉高源 ■会報担当：長野義文
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリークラブ週報

【2017年1月30日】

第1245回

2016-2017年度 第25回

【例会】

1. 開会・点鐘 18:30

2. 食事と交歓

「奉仕の理想」 (ロータリーソング)

来訪者紹介 (河島一夫 会長)

熊本グリーンRAC OG 古賀 泰代

友情の握手

会長スピーチ (河島一夫 会長)

本日は、久しぶりにアクトOGの古賀さんが来られました。ありがとうございました。今日はクラブ協議会ですが、ロータリータイムを楽しんで下さい。

熊本北ロータリークラブとの合同例会の折、「福ねこ舎」の理事長の津留さんから、震災による施設の被害で困っている旨を言われました。それでは、地区の義援金に申請してみようと約束しました。すぐに、書類を整えて12月5日に申請しましたところ、1月半ばに、申請額約200万円満額の手承を得ることができました。そのことを、津留理事長に電話しましたら、大変喜んでいらっしゃいました。NPO法人の被災に対しては、国や県からの援助がありません。少しでもロータリーとしての援助が出来ましたことに喜びを感じています。

本日、クラブ協議会終了後、臨時理事会を行いまして、熊本県立美術館の学芸員さんから田

中憲一画伯の作品が震災で大きく被災してしまっている。国や県からは、それに対する助成金はないとのことで、改めて前田ガバナーに申請したいと思っております。よろしく願い申し上げます。

幹事報告 (葉高源 幹事)

■ 報告事項(その他のロータリー関係)

①「本田光曠氏を偲ぶ会」のご案内

日時：平成29年2月27日(月) 13:00~15:00

場所：熊本ホテルキャッスル

地階「クリスタルホール」

※ご都合の良い時間に平服にてお越し下さい。

※偲ぶ会のためご供花、ご芳志は固くお断り申し上げます。



卓話予定

- 2/6 クラブ・フォーラム「創立30周年事業について」
- 2/13 松本繁熊本第3グループガバナー補佐卓話
- 2/20 未定
- 2/27 「熊本グリーンRC創立28周年記念例会」(予定)

【熊本グリーンRC ホームページアドレス】 <http://www.kg-rc.com/>

出席報告

(中島 三千代 会員)

	会員総数	22名	出席率
1月31日	出席免除会員数	1名	57.14%
	計算上会員数	21名	
	出席会員数	12名	
1月16日	前回の出席会員数	12名	61.90%
	メイクアップ数	1名	
	修正出席会員数	13名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
1/20 熊本中央RC 大友 君			

委員会報告

①熊本・大分地震プロジェクト

報告者：河島 一夫会長
NPO法人「福ねこ舎」施設修復支援を地区に申請し、無事承認が下りました。

その他の報告

ローターアクトクラブ卒業生

古賀 泰代 君
[近況報告]



年頭のJCI本部(セントルイス、米国)での理事会、常任理事会、今年度の理事役員とのトレーニングと、日本国内での諸会議を終えて、帰熊しました。

以前は、会員増強の視点で女性の登用や女性への門戸拡大が話題に上ったものでしたが、その戦略がまだホットな話題として上るのも主に韓国や日本でのこと。今は世界人口の5億を占めるといふ、1980年半ばから2000年初頭に生まれた「ミレニアル」という世代の青年達に、私達の関心は移動し始めました。デジタル世代、ゆとり世代に生まれた彼らは、考え方も、コミュニケーションの取り方も異なります。ベビーブーム、ジェネレーションX、ジェネレーションY世代とも全く異なります。私達X世代も、彼らのことを研究しなければ、今後同じフィールドで共に空気を共有していくことは難しいかと。

そんな彼らは、私達奉仕団体の今後の会員候

補だけでなく、今後の地域社会、国、そして世界の将来を担うであろう、リーダー候補者たちなのです。彼らを理解し、共に手を携え、それぞれのレベルの社会の未来を考えていかなければならないでしょう。

一つお知らせがあります。7月に、国際青年会議所が各国の未来のリーダー候補者約70人を招いてのリーダーシップトレーニングキャンプが、熊本で行われることになりました。お子さんやお孫さん方にとって、ホームステイやボランティア通訳など、熊本にいながらの国際の機会があるでしょう。また詳しくお話しに参ります。

スマイル

(福島 和見 会員)

oooooooooooooooooooooooooooooooooooo

●河島 一夫 君、葉 高源 君
「今日は半期の委員会の反省です。よろしくお願ひします。」

●栗山 義則 君、上田 観一 君
①「古賀泰代アクトOGのご来訪を歓迎致します。又、米国のトランプに負けず頑張ってください。」

②「会長もあと5ヶ付きになります。残り元気に頑張ってください。」

●十時義七郎 君、田中 純司 君、荒木 一之 君
「第4回クラブ協議会」お疲れ様です。最近休みが多くて申し訳ありません。年度末まで忙しくなりそうです。お詫びのスマイルです。」

●大友 利行 君
「昨日はロータリー財団セミナーに中島三千代会員と出席致しました。前半は地区補助金の話でしたが、休憩をはさんで後半はグローバル補助金の話でした。前半が終わって人数が半分近くに少なくなりましたが、私は最後まで参加出来ましたので報告のスマイルです。」

●中島三千代 君
「昨日は補助金管理セミナーに出席して来ました。色々知らない事ばかりで、チンプンカンプンでしたが、少しは勉強して身になった気になってます。認知機能が低下しているこの頃ですが、今後もしっかり知識を吸収したいと思います。」

●福島 和見 君
「年度末に向かって仕事に追われ、この1月最終の週にやっと出席出来ました。久々皆様と会えますことにスマイルさせて頂きます!!」

oooooooooooooooooooooooooooooooooooo

第4回クラブ協議会

★クラブ管理運営委員会

仙波 洋八委員長(発表者:河野 景治副委員長)

1. 今年度前半の活動報告

本年度の主要目標は会員増強ですが、現時点において成果が上がっていません。難しい課題ではありますが、クラブの評価や存在にもかかわることですので、下期にはなんとか1~2名の増強でも実現したいものです。2720地区の状況を見ますと、2400名をギリギリで保持している様子で、気を許すといつでも2300人台で安定しそうな雰囲気です。規定の改正などがあり、ロータリーの姿も変わろうとしています。「歴史と伝統」の誇りを持ち続けるためには会員の減少はなんとしても喰い止めなければならぬのですが、仮に小さくなくても少なくとも組織の活性化は図れます。それは「集いて学ぶ」ロータリーから「集いて創るロータリー」と「参加から参画のロータリアン」に私達自らが変革するぐらいの心構えになることだと考えます。

2. 担当部門別報告と下半期の課題

(1) プログラム

河野担当長を中心に年間スケジュールに沿って卓話者の選定が行われ、遅滞なく実行することが出来ました。優れた卓話、面白い卓話はロータリーの特徴のひとつです。会員の皆さんも日常の中で人探しを意識してくださいようお願い致します。

(2) 親睦

広辞苑によると、ロータリークラブは親睦団体と説明されています。「それだけではないだろう!」と言いたくなりますが、親睦が目的のひとつであることは間違いなく、クラブの運営には重要かつ欠かせないものです。

今年度から、誕生月の人を皆なで祝い、談笑、交流の場としようと、山下親睦担当長責任のもと、おなじみの「もっとも」で毎月開催して来ましたが、楽しい語らいが出来るようになりましたが、時折当事者の居ない祝賀会になることがあります。これからはなるべく早目にスケジュールを組んで連絡をします。

「農業委員会」の分野では、障がい者施設「しょうぶの里」と提携することとなり、中島三千代会員のNPO法人「オールサポート」の活動と相まって、私達の作業負担が少なくなりました。耕地は地主の松村会員の責任で頑張ってくれています。作物はいま、冷たい土の中で春の訪れを待っています。看板倒れにならないように楽しい収穫が出来ることを祈るばかりです。

(3) 会報(週報)

会報は活動記録だけにとどまらず、会員の心を繋ぐ縁(よすが)でもあります。親しみを覚える紙面作りにと、会員投稿コーナー「グリーン瓦版」を提案しましたが計画倒れに終わりそうです。

(4) 出席

出席率は低迷のままです。我がクラブの出席率は2720地区74クラブのなかで安定的低位が続いています。このままだと「言っても聞かない息子と共に親も倒れる」ことになるのではないかと深く心配されます。自覚あるのみです。ご協力よろしくお願い致します。

(5) スマイル

年間目標60万円に向かって、福島担当長が頑張っています。入会3年目での重責ですが、「一人でも多くの方が例会に出席して頂くことが、スマイル達成の必須です。」とみごとにポイントを突いた指摘をされています。12月末現在のスマイル累計は308,000円です。もう1人の新人(?)中島三千代会員と合わせて、エスプリに富んだスマイル報告も楽しいものです。お二人の努力に応じて目標達成に協力しましょう。

(6) いいこと応援プロジェクト

社会奉仕活動の柱になるプロジェクトを捜すことを主な目的に「いいこと応援プロジェクト」が実施されて2年が経過しました。なかなかグッドプロジェクトにたどり着くことが出来ません。体力、実力に合った奉仕活動を立ち上げるのは簡単ではないようです。

そこで提案ですが、この際「いいこと応援プロジェクト」を柱に据えておいてはいけなんでしょうか。世の中には目立つことなく、恵まれない条件のもとで有意義な活動をしている個人や団体は沢山あると思います。従ってこのような方々を捜し出して手助けすることを目的に応援資金を提供するのです。ほんの一瞬の手助けであるかも知れませんが、その方々にとっては明るい光に見えたり、勇気を与えてくれたりするものになるでしょう。私達の身の周りをもう一度見渡してみるのも勉強になることだと思います。

★クラブ広報委員会

田中 純司委員長

1. 今年度前半の活動報告

・「ロータリーの友」の紹介は、毎月欠かさず実施できました。

・「ガバナー月信」は、ガバナー事務局が紙ベースの発行を再開しました。ホームページには電子媒体でもあります。

・熊本グリーンロータリークラブのホームページも定期的に更新しています。

週報は11月28日まで記載しています。しかし、卓話スケジュールの更新ができていません。

2. 今後の実施計画

・「ロータリーの友」の紹介、「ガバナー月信」についてはこれまで通り毎月実施します。

・ホームページ担当との連絡が取りづらいですが、更新に努めます。

・「ロータリーの友」への投稿もやりたいと思います。

★会員増強委員会

大友 利行委員長

1. 今年度前半の活動報告

1人も増強出来ませんでした。退会もなく現状のままです。

会員増強のフォーラムも2度致しました。会員増強委員会として、全ての会員の皆様への増強意欲を喚起致しましたが、もうひとつ反応が弱く、委員会としても後半に向かって委員全員で考え直さねばと考えます。

2. 今後の実施計画

会員増強をしようとしているクラブは多数あります。

熊本西RC、熊本北RCも10名前後と苦しんでいます。熊本菊南RCは9名ですし、それでも増強を望んでいますが難しさを伺っています。その中で熊本グリーンRCの個性とは何かを皆で考えてゆき個性あるクラブ運営が必要だと感じています。

たとえば熊本江南RCは欠席者はクラブに入れないという考えで、出席は義務だからというロータリーの原則を頑に守ってクラブを築いて来たとの事を伺いました。これもクラブの個性です。

★奉仕プロジェクト委員会

山下 佳介委員長

1. 今年度前半の活動報告

今年度も前年に引き続き『いいこと応援プロジェクト』事業を実施。会員からの提案を委員会で協議し、協議会・理事会を経て、実行していきたいと思っておりましたが、熊本地震等もあり、なかなか実現にいたっておりません。

2. 今後の実施計画

①『いいこと応援プロジェクト事業』として、年間を通じて会員からの要望を受付け、検討し、予算枠内での事業化を図っていく。

〈主旨〉:世の為、人の為になるとされる全ての活動に対する支援。→今後の引き続き検討していく。

②ホタル保護育成支援

予算5万円 ホタル鑑賞例会を実施する予定。

③(女子野球チーム)活動支援

→本田光曠バスターが中心となって応援をしてゆくはずだったが急逝され、それを熊本中央RCの味岡弘道幹事が引き継いでいかれる予定ですが、まだなかなか進んでおりません。

しかし、会員の皆様に「暴れん坊ガールズ」の現在の姿を見て頂く為に、RKKテレビのニュースの中で20分程取り上げられた録画を11月21日の例会にて放映し会員への理解を深めて頂いた。

→今後も継続して応援していくつもりです。

④熊本市立図書館にブックカバー進呈

→これは少しアプローチの仕方をを変えて「漱石倶楽部」という団体に熊本グリーンRCとして入会し、仙波会員が会議等に参加され、色々な支援の方法を模索中です。10月には「第1回漱石漢詩大会」というイベントに協力する為に広告費を1万円拠出しました。

⑤「職場訪問」は今後また計画検討中です。

★青少年奉仕委員会

上田 観一委員長

1. 今年度前半の活動報告

今年度も前年に引き続き『いいこと応援プロジェクト』事業を実施。会員からの提案を委員会で協議し、協議会・理事会を経て、実行していきたいと思っておりましたが、熊本地震等もあり、なかなか実現にいたっておりません。

2. 今後の実施計画

1)ローターアクトとの交流(全員1回は出席して欲しい)ロータリアンの参加が少ない。

2)会員増強の協力が出来ていない。

3)青少年交換のチャンスは聞えない。

★ロータリー財団委員会

栗山 義則委員長

1. 今年度前半の活動報告

①前半の活動は地震の関係で何も出来なかった。(委員長)

②ロータリー財団セミナー、米山奨学会セミナー開催。

(9/17:土曜・ホルトホール大分)→河島会長、本田米山担当長の2名が参加

③ロータリー財団及び米山奨学会は例年通り行う。

④地区ロータリー財団・補助金管理セミナー開催。

(1/29:日曜・ホルトホール大分)→中島三千代次期幹事が参加予定

2. 今後の実施計画

地区補助金を使う行事及び活動の研究

★会計

河野 景治

1. 今年度前半の活動報告

(1)本会計の事業予算については、理事会にて承認をいただき、実行いたしております。

(2)特別会計の入出金については、理事会承認事項以外での流用は行われておりません。

(3)クラブ管理運営、クラブ広報、会員増強の予算は会員の会費収入の範囲内にてまかなわれております。

(4)30周年記念事業について、収支予算案のとおり、年度積み立て2500円×4回を実施継続しております。

(5)募金管理状況(H28年12月末)、奉仕プロジェクト募金48,637円、スマイル募金308,000円(内、11月分47,000円は米山特別寄付へ)

2. 今後の実施計画

1. 前期に引き続き、CLPに順じたクラブ予算の執行を行い、クラブ資金とその口座を維持管理、本クラブ会計のさらなる適正化を図ります。

2. 創立30周年記念事業の為に特別口座の維持継続、金銭の出納、事業予算の管理、事業の決算を行います。

★S. A. A.

田中 純司

1. 今年度前半の活動報告

①例会を定刻に開始し、時間配分を考えて、適切な進行にあたる。

②来訪者への十分な気配りを会員に促す。

③出席率向上に向けて、会員への出席を積極的に要請する。

以上の目標をたてましたが、①②については何とか達成できていると感じています。

③が難しく、欠席の多い方がなかなか出席されないの、要請できない事にジレンマを感じるようです。

2. 今後の実施計画

①②をこれまで通り行う。

③についても諦めず根気強く、出席を要請したいと思います。